

第10回 杉浦助成（杉浦地域医療振興助成）

応募92件（研究分野63件 活動分野29件）

【趣旨】

我が国では、人類未曾有の超高齢社会を迎えて、「地域包括ケアの実現」とともに「健康寿命の延伸」が課題となっています。そこで、本財団では、医師、薬剤師、看護師等の医療従事者、及び介護福祉従事者等の多職種が連携して、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の推進に寄与する研究や活動を助成します。

【審査基準】

倫理的配慮のもとに多職種協働の仕組みがあり、助成金の使途が適切で予算計上が妥当であるものを選考対象とします。

具体的には、下記の項目について採点します。

- 社会的意義があり、地域社会に貢献すること。（社会的意義）
- できるだけ多くの職種と地域住民の協働があり、かつ、その仕組みが優れていること。（多職種協働）
- 計画が実行可能であり、成果が期待できること。今までの実績も参考。（計画の実行性、成果に関する評価）
- 独創性があり、新しい試みや豊かな工夫が盛り込まれていること。（独創性）

- 継続的な展開を見込め、発展性があること。（継続性・発展性）

【選考対象】

研究分野では、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」に関する研究で、実際に行っており、効果を検証しようとしているものを対象とします。活動分野では、「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」に関する住民参加型の活動で、既に行っている、またはこれから行おうとしているものを対象とします。多職種協働の範囲としては、保健・医療・福祉等の従事者間のものに限らず、行政、非営利団体、企業等との連携も可とします。

【杉浦助成選考委員】

選考委員長

伴 信太郎

中津川市地域総合医療センター センター長
愛知医科大学 特命教授

安藤 明夫

中日新聞編集委員（医療担当）

大原 弘隆

名古屋市立大学病院 副院長（診療・救急部門）救命救急センター長
総合内科・総合診療科 部長

齋藤 訓子

公益社団法人日本看護協会 副会長

高瀬 義昌

医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長
公益財団法人日米医学医療交流財団 専務理事

平井 みどり

兵庫県赤十字血液センター 所長

堀 美智子

医薬情報研究所株式会社 エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
スギホールディングス株式会社 社外取締役

岡田 啓

元 愛知医科大学 教授 兼 薬剤部長
株式会社スギ薬局 DI室

藤田 あゆみ

株式会社スギ薬局 DI室